

## 平成23年度「新目標チャレンジ」表彰課所

### ■選定・評価の考え方

- ・新目標チャレンジに積極的に取り組み、顕著な成果を収めた課所を知事表彰
- ・評価の視点：①目標設定の適切性、②目標達成に向けた組織（職員）の努力、③目標達成度（成果）

### ■選定の流れ

- ・各部局から、「施策推進の部」「県民サービス・事務改善の部」ごとに1～4課所を順位を付して総務部へ推薦
- ・推薦課所の中から、審査委員会（行革・分権室長、企画部次長等で構成）の審査を経て表彰候補を選定

### ■表彰件数

部門	賞	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
施策推進の部	優秀	1	2	2	3
	努力	5	6	5	6
県民サービス・事務改善の部	優秀	1	1	1	1
	努力	2	2	1	2
計		9	11	9	12

### 《施策推進の部》

#### 【優秀賞】（農業政策課，漁政課）

#### 原発事故に係る農林水産物損害賠償における農林水産業者への救済措置

目標数値等	実績
①農畜産物賠償対策協議会設置市町村数 ： <u>44市町村</u>	<u>44市町村</u>
②県が円滑な請求を支援する水産団体数 ： <u>3団体</u>	<u>4団体</u>
（表彰理由） ○ 原発事故による農畜産物・水産物の被害に対して、関係団体だけでは困難であった損害賠償請求のため、団体等に対して迅速かつ丁寧なサポートを行ったことに加え、農業においては県単位及び市町村単位の対策協議会設置を設置するなどの体制整備を行ったことを評価 ○ 目標値の達成はもちろん、賠償請求額、支払額ともに他県よりも多く、支払時期もいち早く実施させたのは極めて大きな成果	

#### 【努力賞】（空港対策課）茨城空港の利活用促進

目標数値等	実績
①茨城空港旅客ターミナルビル来場者数 ： <u>50万人</u>	<u>96.2万人</u> （実績見込）
②見学会開催件数 ： <u>300回</u>	<u>150回</u> （実績見込）
③イベント開催件数 ： <u>130回</u>	<u>150回</u> （実績見込）
④出前説明会実施件数 ： <u>1000回</u>	<u>延べ1300回</u> （実績見込）
（表彰理由） ○ 来場者数は目標を大きく超え、前年の実績をも上回っており、震災後の困難な状況を鑑みれば、極めて大きな成果 ○ イベントが恒常的に行われるよう、新たなイベントの実施や誘致に努めるなど、職員のたゆまない努力が見受けられ、さらなる茨城空港の利活用促進のみならず、周辺地域の活性化も期待できる取組	

**【努力賞】（環境政策課）中小企業者等が行う環境負荷低減のための取組促進**

目 標 数 値 等	実 績
茨城エコ事業所登録者数： <u>300事業所</u> (表彰理由)	<u>697事業所</u> （実績見込）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標が前年の登録件数より遥かに高い数値であったにもかかわらず、目標を大幅に超えて達成し、全国トップクラスの登録者数を維持しているのは大きな成果</li> <li>○ 企業への個別訪問を強化するだけでなく、申請の手間を軽減する工夫を行うなど登録件数増加に向けての努力を評価</li> </ul>	

**【努力賞】（東京農産物販売推進センター）**

**震災・原子力発電所事故の影響を受けた本県農産物の流通安定化とイメージ向上**

目 標 数 値 等	実 績
産地応援キャンペーン、イベントの実施回数： <u>15回</u>	<u>39回</u>
<p>(表彰理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 定例的なイベントに加えて、さらに多くのイベントを実施した努力と各企業等の協力を集めながら販促を進めていった工夫を評価</li> <li>○ 目標の倍以上の回数を実施しているばかりではなく、結果的に東京都中央卸売市場における野菜の値段は例年の9割程度まで回復するなど、波及効果を含めると大きな成果</li> </ul>	

**【努力賞】（道路建設課）圏央道の用地取得推進**

目 標 数 値 等	実 績
県内の用地残件の8割解決： <u>155件</u> [残件数：193件]	<u>164件</u> （実績見込）
<p>(表彰理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 圏央道の早期整備は県南県西地方の発展のため、重要な案件であり、事業の実施主体は国であるとはいえ、国・地元市町との間を取り持ちながら、PTを設立し、交渉にも携わってきた努力を評価</li> <li>○ 目標を超える件数の契約が達成され、稲敷以東の路線について、国が事業認定申請までこぎつけることができたのは大きな成果</li> </ul>	

**【努力賞】（教育庁 義務教育課）児童生徒の学力向上**

目 標 数 値 等	実 績
① 理科の勉強が好きな児童の割合向上 [H18 <u>4学年：85.0%</u> <u>5学年：78.3%</u> <u>6学年：74.9%</u> ]	① <u>4学年：93.9%</u> <u>5学年：89.0%</u> <u>6学年：87.7%</u>
② 発音テストの点数が上がる生徒の割合： <u>100%</u>	② <u>72%</u>
<p>(表彰理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 理科教育にあつては、大学教員による公開授業や大学教員・大学院生による自由研究の指導するなど、県内大学の知的・人的資源を効果的に活用した工夫を評価</li> <li>○ 英語の発音力向上については、産総研と県内ベンチャー企業が開発したソフトを導入するなど、県内の知的資源を効果的に活用する工夫を行っており、達成率は低かったが、今後の本県英語教育の発展に寄与するところが大きく期待できることを評価</li> </ul>	

## 《県民サービス・事務改善の部》

### 【優秀賞】（統計課） 統計提供資料に係る新聞掲載率等

目 標 数 値 等	実 績
①提供資料に係る新聞掲載率： <u>90%</u>	<u>92.8%</u> （実績見込）
②提供資料に係る新聞掲載延べ数： <u>200紙</u>	<u>248紙</u> （実績見込）
（表彰理由） <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「メディアの関心を高める資料提供」は、全庁的な事務改善につながり、ひいては県のイメージアップにもつながると考えられる優れた目標設定</li> <li>○ 統計結果の要点をまとめた「ここがポイント」を付加するなど、作成資料に工夫を凝らし、課全体で継続的に実施した努力を評価</li> <li>○ 困難な目標設定であったにもかかわらず、目標を超えて達成</li> </ul>	

### 【努力賞】（廃棄物対策課）廃棄物処理施設への立入り件数の増加

目 標 数 値 等	実 績
廃棄物処理施設への年間立入件数： <u>100件</u>	<u>120件</u> （実績見込）
（表彰理由） <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 確認事項の重点化や指導票及び報告書作成の合理化とともに、効率的なローテーションを組むなどの工夫を評価。また、勤務日数の3分の1を調査に充てるなど、関係者の相応な努力を評価</li> <li>○ 目標が例年の件数（30件程度）より高い数値であったにもかかわらず、目標を大幅に超えての達成</li> </ul>	

### 【努力賞】（県南水道事務所利根川浄水場）送水ポンプに係る使用電力量の削減

目 標 数 値 等	実 績
送水ポンプの原単位（送水1m <sup>3</sup> ）あたりの電力使用量削減割合： <u>3.9%</u>	<u>11.7%</u>
（表彰理由） <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現場担当者の知恵・経験をフルに活用し、自動制御をあえて手動にすることで、サービスを低下させることなく大幅な節電を行ったことを評価</li> <li>○ 目標値を大きく超えて達成しているほか、施設全体としての節電も水道関連施設の目標（5%）を大きく上回っての達成</li> </ul>	